

講座

31

大規模データ発掘から探る科学と技術の未来

オンライン併用

【会場定員】 48名 【オンライン定員】100名 【受講料】 2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『自然科学』活躍する科学・技術 【時間】 毎回15時00分～16時30分（計12回）

概要 21世紀も四半世紀が過ぎるのを目の前にして、未来への期待と不安が増大している。そのことに対して正確な道筋を示すのは大規模なデータを人工知能で探り、科学的展望を模索することにあるとの認識が広がっている。本講義では環境・資源・災害を含めた未来予測を例に科学と技術の現状と今後の展望について学ぶ。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/14(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	オープンサイエンスが変える科学と社会 ーデータ駆動型科学の進展と市民の新しい関わり	文部科学省 科学技術・学術政策研究所 データ解析政策研究室長 林 和弘
2	4/21(金)			
3	4/28(金)		天気予報から地球温暖化予測まで、最新気象学とその未来	東京大学先端科学技術研究センター教授 中村 尚
4	5/12(金)			
5	5/19(金)		大規模複合災害と防災の学術連携 **遠隔講義	東京工業大学特任教授 米田 雅子
6	6/2(金)			
7	6/23(金)		大規模稠密地震観測による地震研究への貢献と未来	東京大学地震研究所教授 小原 一成
8	6/30(金)			
9	7/7(金)		大規模データを用いた先端探査技術：宇宙探査からCO ₂ 地中貯留まで	東京大学教授 辻 健
10	7/14(金)			
11	7/21(金)		ビッグデータとAIを活用して日本の文化を読み解く	情報・システム研究機構 人文学オープンデータ共同利用センター センター長 北本 朝展
12	8/4(金)			

連絡事項

5/19, 6/2の「**遠隔講義」とは講師の先生はご自宅等からオンラインでご講義くださり、会場でご受講の皆様にはスクリーンでご受講いただきます。